

**飼料の品質表示に係る低脂肪 DDGS の
TDN(可消化養分総量)または ME(代謝エネルギー)の設定について**

近年、米国内の多くのエタノール工場においてトウモロコシ DDGS を製造する際、エタノール発酵後に残った固形分と液状部分（シンスチレージ）を分離したのち、シンスチレージから油分を抽出して固形部分と再度混合して乾燥する工程が組入れる動きが加速しています。この工程が組入れたエタノール工場で製造される DDGS は従来の DDGS に比べて粗脂肪含量が低いことから、アメリカ穀物協会では鶏を用いた代謝試験および豚および反すう家畜を用いた消化試験を実施し、農林水産省に対して原材料の TDN または ME に関する暫定値申請を行っておりました。

去る平成 25 年 11 月 12 日に開催された第 3 回農業資材審議会飼料分科会飼料栄養

部会（家畜飼料）において、低脂肪 DDGS を含む 6 種類の原料に関する審議が行われ、下表のように低脂肪 DDGS の暫定値を追加されることについて可とする旨の答申が行われました。

今後、農林水産省において飼料の公定規格に関する告示の改正作業が進められ、本告示中の別表 3 に低脂肪 DDGS の栄養価および消化率が追加されることとなります。なお、これまで別表に掲載されていた DDGS の栄養価および消化率はそのまま残ることとなりますので、粗脂肪含量が 11% を超えるものに関しては従来の DDGS の栄養価および消化率を使用することとなります。告示の改正作業の進捗状況については情報が入りご報告させていただきます。

原料名	畜種	栄養価（原物中）			消化率				代謝率	備考
		DM (%)	TDN (%)	ME (%)	粗たん白質	粗脂肪	可溶無窒素物	粗繊維		

現在、告示別表 3 に掲載されている DDGS

とうもろこしジスチラーズグレインソリュブル	鶏	90.7	—	2,900	87	80	59	36	59.7	燃料用アルコールの副産物を乾燥したものであること。
	豚	90.7	78.9	—	85	87	74	55	—	
	牛	90.7	84.7	—	84	90	83	76	—	

平成 25 年 11 月 12 日開催の第 3 回農業資材審議会飼料分科会飼料栄養部会（家畜飼料）において答申された追加部分

とうもろこしジスチラーズグレインソリュブル	鶏	89.1	—	2,490	—	—	—	—	53.5	燃料用アルコールの副産物を乾燥したものであって、粗脂肪含量が 7~11% となるようシンスチレージから油分を除去したものであること。栄養価は、暫定的に定めたものである。
	豚	89.1	72.8	—	88	83	66	58	—	
	牛	89.1	78.4	—	85	91	78	57	—	

